

さいと

第 86 号

平成 28 年 11 月 1 日 発行

市議会だより



○左上：「伊東マンショの肖像展」視察の様子
○左下：平成 28 年度西都市戦没者追悼式

○右上：第 17 回オカリナ太鼓コンサート
○右下：第 11 回西都市議長杯パークゴルフ大会

● 9 月定例会の概要 ●

平成 28 年第 6 回定例会は 9 月 1 日に召集。9 月 30 日までの会期で、市長提出議案 31 件、報告案件 6 件、議員提出議案 2 件、請願 2 件、陳情 2 件について審査を行いました。

その結果、市長提出議案 31 件、議員提出議案 2 件は原案可決（教育委員会委員の任命については同意、人権擁護委員候補者の推薦については適任、平成 27 年度決算に係る 14 件については認定）としました。なお、請願 2 件については採択、陳情 2 件を継続審査としました。

主な掲載内容

- ◎ 一 般 質 問 . . . P 2 ～ 5
- ◎ 議 案 審 議 結 果 . . . P 5 ～ 6
- ◎ 委 員 会 審 査 報 告 . . . P 6 ～ 9
- ◎ 請 願 ・ 陳 情 の 審 査 結 果 . . . P 10

次のページから

一 般 質 問

9 月 9 日、12 日に 7 名の議員が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、安全安心な地域づくり、食の拠点、防災対策、地域医療、教育行政など、市政全般にわたって質問を行いました。

「24時間救急医療体制」早期実現への決意は



日本共産党 狩野 保夫

問① 医療センターに市民が望むのは、西都市に救急病院が出来たときの原点である「24時間、365日の救急医療」の実現であり、市民に愛され、信頼される病院として発展していくことである。24時間救急医療体制の早期実現への決意を伺いたい。

答 西都市西児湯医師会が維持されてきた24時間365日の救急体制の早期実現は、医療環境の整備になくはならないものであり、医療センターを核とした救急医療体制の充実に努力する決意である。
問② 「食の拠点」(道の駅)整備計画について「凍結」を表明したことは、政治的には、同計画の破綻を示すものである。どう責任をとられるのか見解を伺いたい。
答 本年4月の熊本地震の発生を受け、危機管理に重点を置いた施策を最優先事項として進めるため「食の拠点」建設を凍結した。市民の安全・安心を守る政策課題を

優先させていたいただきたい。
問③ 台湾との国際交流計画について見解を伺いたい。

答 台湾の羅東鎮(らとうちん)より「本市と姉妹都市の盟約を結び、交流を深めていきたい」との申し出を前向きに受け止め、再度、調査を行った上で、本市と羅東鎮の今後の振興・発展の上で、どのような交流が可能なか整理していくことにした。

問④ 山間地域では、携帯電話が繋がらないことや、生活飲料水の問題など、深刻な問題を抱えている。市長の認識と対策について見解を伺いたい。

答 人口減少や少子高齢化が進む中で山間地域でその影響が様々な分野で顕著化していることは、大きな社会問題として認識している。携帯電話のエリアの拡大は、日常生活の利便性や安全安心対策、防災対策の推進を図ることからも、山間地域で取り組む重要施策として位置づけている。国の補助事業の採択に向け、東米良地区33世帯及び穂北地区34世帯の整備要望を行いたい。
飲料水等の解決策については、山間地域における社会基盤整備の先行地の事例を踏まえた支援策について調査研究してまいりたい。

本庁舎建替え計画の進捗(しんちよく)状況ほか



如水会 恒吉 政憲

問① 本庁舎建替え計画の進捗状況について伺いたい。

答 現在までに新庁舎建設検討市民懇話会設置要綱の制定及び同委員構成の検討、各種団体への推薦依頼、一般公募委員の募集などを行っており、第一回の新庁舎建設検討市民懇話会の開催を9月30日に予定しているところである。また、有事における本庁舎の代替施設としてのコミュニティセンターは、庁内の情報ネットワークが利用でき、電話回線やライブラリー等、本庁舎と同等の設備があるので、資機材を搬入すれば災害対策本部としての機能は十分である。現時点での耐震性のない庁舎での窓口業務においては、有事の備えとして定期的に避難誘導訓練を実施しており、今回は地震を対象とした避難誘導訓練を計画している。
問② 社会福祉大会の開催間隔について20年は長いと考えるが今後の取り組みについて伺いたい。

答 議員の言われる、オリンピック開催時開催の意見も参考として、社会福祉協議会等関係機関と定期的な開催に向け協議、検討する。
問③ グリーンベルトの普及について伺いたい。

答 通学路等におけるグリーンベルトの設置については、今後も合同点検を行い、交通事故防止のため、必要な箇所を設置を進めたい。
問④ 防災ラジオの配布についてその現状を伺いたい。

答 これまで約41000個を配布しており、今年度は約32000個を配布することになっている。
問⑤ 回覧板の現状を伺いたい。

答 回覧板により文書が回覧・配布される世帯数は、現在1万479世帯であり、国勢調査からの現世帯数は1万2164世帯なので、回覧板による回覧・配布率は約86パーセントである。また、議員提案のシャトルバッグについては、文書量も増えていることから、区長の皆様のご意見を伺い、検討してまいりたい。

問⑥ 口蹄疫対策における今後の取り組みについて伺いたい。
答 議員の言われるとおり、慰霊や再発防止を誓うことは必要だ。5年経過したことで、今後は防疫研修会と併せて慰霊をしていく。



新緑会
太田 寛文

問① 減反政策が、2018年度に廃止になることにより、農家は、需要に応じた米作りを余儀なくされ、不安がある。市の対策について伺いたい。

答 需要と供給のバランスの取れた作物による経営所得の安定確保に向け、おいしい米づくり・加工用米・飼料用米・WCS等を含めた水田をフル活用していきたい。

問② 本市の水田農業を守るためWCS・加工用米・飼料用米の交付金の影響は大きい。助成金の維持拡大を要望してはどうか。

答 今後は、需要と供給のバランスの取れた作物が必要でありWCSなどの交付金について、国へ強く要望していきたい。

問③ 畜産農家から要望のある牛舎整備や妊娠牛供給センターなどの整備のための国の補助に対し、市も上乗せ補助はできないか。

答 キャトルセンター・繁殖センターなどについては、地域の肉用

牛拠点施設として、重要であり前向きに検討したい。

問④ 地域ポイント制度の成果と方策について伺いたい。

答 市民の健康増進活動や協働推進活動への参加促進・地域経済の活性が図られるものと期待している。方策として、ヘルスアップ活動・ボランティア活動・生涯学習活動・商店街振興活動などへの参加する市民にポイントを付与し、ギフト券への交換や市民活動団体への寄付など市の活性化に繋げるシステムを構築する。

問⑤ この制度は、長く定着させることが大事であり、継続のための財源確保について伺いたい。

答 長期間継続することにより、地域経済の活性化が図られる。市民の健康増進や協働推進活動など多岐にわたる波及効果が期待できることから、財源の一部に「ふるさと納税」の活用も検討したい。



WCS 収穫作業



新緑会
北岡 四郎

問① 本市の幼小中の虫歯有病者の現状と虫歯予防の取組について伺いたい。

答 1歳6ヶ月児の虫歯有病者率が県平均以下、3歳児では県平均を上回っている。これを解消するために保育所、幼稚園、小中学校を対象にフッ化ナトリウム水溶液でうがいをする虫歯予防の普及・啓発に取り組みたい。

問② 本市の歯科医師会はどのような考え方を持っておられるのか伺いたい。

答 歯科医師会はフッ化物洗口の導入について積極的な推進の立場をとられている。

問③ 市内におけるフッ化物洗口の実施状況について伺いたい。

答 28年8月末現在で保育所15ヶ所中12ヶ所、幼稚園が1園中1園、認定子ども園が6園中4園で実施している。小中学校は全て未実施となっている。

問④ 県内におけるフッ化物洗口

の実施状況について伺いたい。

答 26年度で保育所幼稚園では26市町村中15市町村、小中学校では10市町村が実施している。

問⑤ フッ化物洗口に対する県の対応はどうか伺いたい。

答 県は虫歯予防対策事業のひとつとして、平成16年度から普及啓発等に努めている。

問⑥ 本市の保育所幼稚園は、フッ化物洗口を週何回実施しているか伺いたい。

答 本市では週5回実施している。

問⑦ フッ化物洗口は、小中学校では、週1回程度の実施で効果があると聞いている。現在は保育所等で習慣づけられているので、小中学校の先生方の負担はそう重くないし、継続が虫歯予防につながる。保護者に理解を求め前向きに取り組んでいただきたいと思うが見解を伺いたい。

答 今後、学校を含めたフッ化物洗口の調査、研究を行い検討していく。



安全・安心な地域づくりと子育て支援について



信の会
田爪 淑子

問① 「安全・安心な地域づくり」について

イ 説明会出席人数は何名だったか、説明会場ではどんな意見が出たのかお尋ねしたい。

答 参加合計数は513名であり、1会場の平均人数は23名だった。出されたご意見は自主防災組織の必要性や避難に関する事、防災ラジオ、市庁舎の建替えや木造住宅の耐震化、西都児湯医療センターの体制と今後の方向性を尋ねたご意見等があった。

ロ 自主防災組織は市内で現在何組織が立ち上がっているのかお尋ねしたい。

答 自治公民館数134に対して59組織が立ち上がっている。

ハ 新防災マップは市内全域に配布されたのかお尋ねしたい。

答 8月下旬から配布を始め9月2日に完了している。

問② 子育て支援について

イ 支援策として出生率アップの取り組みはどのようにされているのかお尋ねしたい。

答 出逢い創出支援事業、不妊治療費助成事業、母子保健事業、医療費助成事業等を行っている。

ロ 子ども達の障がいの有無を早期発見するための取り組みについてお尋ねしたい。

答 5歳児の希望者を対象に発達障がいの相談を行っている。

ハ 5歳児全員を対象とした検診は出来ないのかお尋ねしたい。

答 診断が出来る医師の確保が困難な為、現段階では出来ない。

ニ 放課後児童クラブは希望者全員が利用できるのかお尋ねしたい。

答 利用できる学年が拡大したことに伴い待機児童が9名出た。

ホ 望ましい小中学校であるために力を入れて取り組んでいる事をお尋ねしたい。

答 ふるさと西都に愛着と誇りを持ち、自分の生き方を考える独自の学習「さいと学」を小学1年生から中学3年生までの9年間かけて取り組んでいる。

ヘ 地元高校へ行きたいと思っもらう為の方策をお尋ねしたい。

答 新学校の魅力を小中学生やその保護者、また市内全域へ積極的にPRしていきたい。

市政運営と行財政改革、騒音対策
空き家対策について



進さいと
荒川 昭英

問① 市長は、どの様な考えの基で市政運営を行われてきたのか伺いたい。

答 基本姿勢として、知恵を出し合い、透明性を高め、目標を設定し、評価検証するという姿勢で取り組んでいる。市のリーダーとしての自覚と責任のもと、市民にとって最善の判断をしてきた。

問② 行財政改革大綱の中で、基金の増額を果たし、市債は10年間で50億円減少し、財政指数が改善された点がある。一方、中期財政見通しによると平成31年度には地方債は、平成25年度より77億3600万円増加し、176億2900万円、逆に基金は、大きく減少し、53億2500万円となっている。この財政指数を見てどの様に判断されているのか伺いたい。

答 概算的な試算である。大型事業が含まれており、現時点では流動的で、この指数は現状と異なったものとなると考えている。

問③ 口蹄疫復興対策ファンドは1億円が交付される予定に対し、交付を受けたのは、5732万6千円である。この口蹄疫ファンドは、事業計画の不安定な食の拠点施設に充てられていたことから、結果として4267万4千円もの交付額を受け取れないまま、このファンド交付事業は終了となった。どうしてこの様な結果になったのか伺いたい。

答 平成27年度中に完了見込みのある事業の中から趣旨に沿う事業を選定し、改めて県へ申請を行ったため1億円に満たなかった。

問④ 騒音対策について、どのような考えの基で取り組んでおられるのか伺いたい。

答 騒音対策事業は市民生活改善のために一定の効果を得ている。しかし、市民生活への影響の大きさに照らし、いまだ不十分であると言わざるを得ない。国に対し、要望活動など一層の取り組み強化を図って参りたい。

問⑤ 空き家対策の推進に向けての取り組み状況を伺いたい。

答 本年度中に空き家の洗い出しを行う。現在、調査委託業者等の選定作業を行っている。また庁内に必要な事項を調査検討する空き家対策委員会を設置した。



公明党 曾我部 貴博

問① 官公庁ではインターネットを使った利便性の高い充実した観光の提供を図るため「観光ICT化促進」を掲げ、無料の公衆無線LANスポットの整備を要請している。本市でも整備をする考えはないか伺いたい。

答 本年度西都原ガイドンスセンターこのはな館の屋外に、宮崎県観光アクセスポイントの設置を計画している。設置後は利用者情報をもとに動向分析に取り組み、結果を待って整備を検討する。

問② 昨年導入した観光情報アプリ「さいとココなび」を実際に使ってみたが、操作法・情報量・掲載画像の低画質等多くの問題が見受けられた。早急に改善すべきと考えるが。

答 データサイズの制限の関係で画質や容量を制限する必要があった。利用者の方に、より良い情報を提供するためにも改善を図っていく。

問③ 大災害の発生により被災者への罹災証明の発行、支援金や義援金の交付、救済物資の管理、仮設住宅の入退去など被災者支援に必要な情報を一元的に管理する被災者支援システムを本市でも早急に導入すべきと考えるが見解を伺いたい。

答 県や他の市町村においても現在導入に向けた検討がなされており、本市においても費用対効果を考慮し検討したい。

問④ 平時より小中学校の教室や体育館の災害対策が重要である。ガラス飛散防止フィルムを貼る等の対策は出来ないか。

答 子供たちの安全な教育環境の整備については今後も充実していきたいかなければならないと考える。財政面も考慮し、どのような対策ができるか検討が必要と考える。

問⑤ 山間部の携帯電話の不感地域の解消は地域住民の利便性に限らず、緊急時の連絡にも重要である。解消に向けた取り組みを進めべきと考えるが。

答 毎年、県を通して国や事業者に要望を行なっている。また県がとりまとめを行い、携帯電話事業者に直接要望を行なってきた経緯もあるため、そのような機会を積極的に活用したい。

委員会構成の変更

総務常任委員会副委員長の議員
退職に伴い、総務常任委員会が開
催され、互選の結果、曾我部貴博
議員が選任されました。

総務常任委員会

副委員長 曾我部貴博

議案審議結果

第6回定例会（9月1日～9月30日）で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決

条例関係

● 第74号 西都市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について（医療費助成対象年齢の拡大に伴い、関係する条例について、所要の整備を行おうとするもの）

● 第75号 西都市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について（公職選挙法施行令の一部改正に伴い、関係する条例について、所要の整備を行おうとするもの）

予算関係

■ 第76号 平成28年度西都市一般会計予算補正（第6号）について（総務費、民生費など、総額8億3156万3千円を増額補正しようとするもの）

● 第77号 平成28年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第2号）について（諸支出金に1364万2千円を増額補正しようとするもの）

● 第78号 平成28年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正（第1号）について（国庫支出金、県支出金などを予算補正しようとするもの）

● 第79号 平成28年度西都市営住宅事業特別会計予算補正（第1号）について（住宅費に327万8千円を増額補正しようとするもの）

■ 第80号 平成28年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第1号）について（諸支出金など、総額1億1014万4千円を増額補正しようとするもの）

● 第81号 平成28年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正（第1号）について（諸支出金など、総額23万5千円を増額補正しようとするもの）

するもの)

●第82号 平成28年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第1号)について(後期高齢者医療広域連合納付金など、総額160万円を増額補正しようとするもの)

●第83号 平成28年度西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計予算補正(第1号)について(諸支出金に、5千円を増額補正しようとするもの)

●第84号 平成28年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算補正(第1号)について(諸支出金など、総額3万4千円を増額補正しようとするもの)

●第85号 平成28年度西都児湯公平委員会特別会計予算補正(第1号)について(諸支出金など、総額5万3千円を増額補正しようとするもの)

●第86号 平成28年度西都市水道事業会計予算補正(第1号)について(支払利息及び企業債取扱諸費など、総額198万6千円を減額補正しようとするもの)

●第87号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第5号)について(宮崎県議会議員の辞職に伴う補欠選挙

執行経費として総務費に13386万8千円を増額補正しようとするもの)

●第102号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第7号)について(西都市議会議員の辞職に伴う補欠選挙執行経費など、総務費に総額872万1千円を増額補正しようとするもの)

決算関係

●第88号 平成27年度西都市一般会計歳入歳出決算について

●第89号 平成27年度西都市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について

●第90号 平成27年度西都市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について

●第91号 平成27年度西都市下水道事業特別会計歳入歳出決算について

●第92号 平成27年度西都市営住宅事業特別会計歳入歳出決算について

●第93号 平成27年度西都市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について

●第94号 平成27年度西都市介護保険事業特別会計歳入歳出決算につ

いて

●第95号 平成27年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計歳入歳出決算について

●第96号 平成27年度西都児湯障害認定審査会特別会計歳入歳出決算について

●第97号 平成27年度西都市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

●第98号 平成27年度西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計歳入歳出決算について

●第99号 平成27年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計歳入歳出決算について

●第100号 平成27年度西都児湯公平委員会特別会計歳入歳出決算について

●第101号 平成27年度西都市水道事業会計決算について

その他

●第72号 教育委員会委員の任命について

連尺野智子氏(新任)

●第73号 人権擁護委員候補者の推薦について

児玉 邦昭氏(新任)

議員提出議案

●第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書の提出について

●第3号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

議案等の審査

総務常任委員会

今期定例会において、総務常任委員会に付託されました議案5件及び請願1件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第75号 西都市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正についてであります。

本案は、公職選挙法施行令の一部改正に伴い、関係する条例について、所要の整備を行おうとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、

全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第76号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第6号)について本委員会に付託をされた部分についてであります。

第1表歳入につきまして主なもの、国庫支出金1億5524万5千円を減額補正し、県支出金2億5919万2千円、繰越金5億5045万1千円を増額補正しようとするものであります。

第1表歳出につきまして主なもの、総務費に公共施設整備等基金として2億円、総合行政システムクラウド化事業として1443万7千円、マイナンバー法に係る自治体情報セキュリティ対策事業として1779万8千円の予算などが計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第84号 平成28年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、諸支出金など、総額3万4千円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第85号 平成28年度西都児湯公平委員会特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、諸支出金など、総額5万1千円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第87号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第5号)についてであります。

本案は、宮崎県議会議員の辞職に伴う補欠選挙執行経費として、総務費に1386万8千円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可

決すべきものと決しました。

次に、請願第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願についてであります。

本請願については、地方財政の充実・強化を図るため、「社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること」など3項目の対策を国に求めるものであります。

採決の結果「願意妥当」と認め、全会一致をもって採択すべきものと決しました。

文教厚生常任委員会

今期定例会において、文教厚生常任委員会に付託を受けました議案7件及び請願1件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第76号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第6号)について、文教厚生常任委員会に

付託をされた部分についてであります。

歳出につきまして、主なものでは、総務費中市民会館管理費に舞台照明設備取替工事費として、500万円の予算が計上されております。

また、民生費に保育所等整備交付金事業補助金など、1億3416万7千円の予算が計上されております。

また、教育費に妻中学校体育館外壁塗装工事費として、1100万円の予算が計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、認定こども園くろうのこども園の大字岡富への移転計画に伴う予算の提案にあたっては、福祉事務所から「西都市立保育所民営化に係る協定書」の一部見直しと移転計画に対する「関係者の同意書」が提出されたところでありました。

また、同予定地の農地転用については農地法第5条の規定による許可申請を9月30日開催の農業委

員会において「承認」が得られたとの報告を受けたところであります。

次に、議案第74号 西都市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正についてであります。

本案は、医療費助成対象年齢の拡大に伴い、関係する条例について、所要の整備を行うとするものです。

本案につきましては、種々質疑の後、ある委員より「本案は、子ども医療費について、来年4月1日から対象年齢を12歳の小学卒業までから15歳の中学卒業まで拡充するものであるが、これまで一貫して医療費助成の拡充を求めてきた立場から1千円の一部負担はあるが対象年齢の拡充は、子育ての皆さんの願いに応えたものであり賛成したい。今後は、対象年齢を高校卒業までにされること、一部負担をなくす等、更なる拡充へ努力されることを強く要望したい」との賛成討論があり、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第77号 平成28年度

西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第2号)についてであります。

本案は、諸支出金に1364万2千円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第80号 平成28年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、諸支出金など、総額1億1014万4千円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、ある委員より、「今回の補正では、歳入において繰越1億880万8千円を増額補正し、歳出では、介護給付費準備基金へ5374万8千円が積み立てられている。繰越金は、平成27年度の黒字分である。これによる補正後の28年度末基金保有見込額は1億5560万269円であり、これを一人当たり換算すると1万474

7円である。多額の黒字を出し基金を保有するというのは高い保険料の結果であり、保険料の減額や利用料の減免を求めてきた立場から賛成できない」との反対討論がなされましたが、採決の結果、多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第81号 平成28年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、諸支出金など、総額23万5千円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第82号 平成28年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、後期高齢者医療広域連合納付金など、総額160万円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑

の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第83号 平成28年度西都児湯いじめ問題対策専門委員会特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、諸支出金に5千円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、平成28年請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願であります。

本請願は、教職員定数改善を推進し、また、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担率を2分の1に還元することを強く要望するものであります。

本請願については、ある委員より、「本請願は、いま学校を取り巻く状況は、複雑化、困難化して

おり、学校に求められる役割は拡大している。一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善とその他の条件整備が不可欠であり、2017年度政府予算編成において、計画的な教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することを政府に求めるものであり、本請願は願意妥当と認め採択すべきである」との賛成討論があり、採決の結果、「願意妥当」と認め、全会一致をもって採択すべきものと決しました。

産業建設常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託を受けました議案4件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第76号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第6号)について、本委員会に付託された部分についてであります。

主なものでは、農林水産業費のうち、農業費に中山間地域等担い手収益力向上支援事業として900万円の増額補正が計上されています。これは中山間地域等において、その地域の特性に応じた担い手の収益力の向上を図るため、農地中間管理機構等から新たに農地を借り受けて経営の規模拡大等を図る担い手や、収益性の高い作物の導入を図る担い手等の取り組みを支援するものです。

また、土木費のうち都市計画費に山角河川敷広場のトイレ改修工事、聖陵街区公園の遊水施設の補修工事、妻萬公園の防犯カメラの設置工事請負費として1300万円の増額補正が計上されています。

また、災害復旧費のうち、農林水産業施設災害復旧費に平八重線、上揚線、尾八重銀鏡線の林道の法面災害復旧工事請負費として1億円の増額補正が計上されています。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決す

べきものと決しました。

なお、審査の過程において、ある委員より、「畜産振興費の全国モデルとなる防疫体制構築事業について、口蹄疫再発防止のため、畜産農家へ石灰・ビルコンなどの消毒液を配付するとの説明であった。この事業を通じて畜産農家が口蹄疫再発防止のための、防疫対策の重要性を再認識するよう、パトロール等で再度啓発を図って頂きたい」

またある委員より、「地域農政対策費の中山間地域等担い手収益力向上支援事業交付金900万円の執行については、現在作付してある作物の収穫後に整地を済ませ、その状況確認を行い条件が整った段階で執行するようにお願いしたい。また、今後は関係各課で連携を図り指導監督にあたっていたいただきたい」との意見・要望がなされました。

次に、議案第78号 平成28年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、国庫支出金、県支出金

などを予算補正しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第79号 平成28年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、住宅費に327万8千円を増額補正しようとするものであります。本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第86号 平成28年度西都市水道事業会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、支払利息及び企業債取扱諸費など、総額198万6千円を減額補正しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。



中山間地域等担い手収益力向上
支援事業対象地 現地調査

請願 審査結果

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願

請願者

宮崎県教職員組合児湯支部
支部長 安田 均 他1名
審査結果 採択

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願

請願者

西都市役所労働組合
執行委員長 児玉 尚也
審査結果 採択

陳情 審査結果

「2020年東京オリンピック」サーフィン競技大会招致に関する決議を求める陳情

陳情者

東京オリンピックピクサーフィン競技大会招致実行委員会
会長 三輪 純司
審査結果 継続審査

動物の保護及び管理に関する法律の実行を求める要望

陳情者

緒方 博
審査結果 継続審査

可決された 意見書

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書

(提出先)
内閣総理大臣・内閣官房長官・
文部科学大臣・総務大臣・
財務大臣

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

(提出先)
内閣総理大臣・財務大臣・
総務大臣・内閣官房長官・
内閣府特命担当大臣
(経済財政政策担当)・
衆議院議長・参議院議長

◆編集後記◆

地球温暖化と言われる中、今年も全国各地で猛暑日等、異常気象が続いた夏でした。

まれにしか上陸することのない北海道をはじめ、全国各地に多くの台風が上陸し、強風や豪雨による土砂災害等が発生し、北海道を中心に、日本各地の農作物等に甚大な被害をもたらし、多くの尊い人命まで犠牲になりました。

西都市でも、農作物を中心に被害がありました。被害にあわれた方、心よりお見舞い申し上げます。

今年も、残り少なくなりましたが、災害も事件もない平和な日々が続くことを願うばかりです。

— 議会報編集委員会 —

- | | |
|-------|--------|
| 委員長 | 黒木 吉彦 |
| 副委員長 | 曾我部 貴博 |
| 委員 | 恒吉 政憲 |
| 荒川 昭英 | 荒川 昭英 |
| 田爪 淑子 | 田爪 淑子 |
| 荒川 敏満 | 荒川 敏満 |
| 中野 邦美 | 中野 邦美 |
| 中野 保夫 | 中野 保夫 |
| 狩野 夫 | 狩野 夫 |